価値創造プロセス

五洋建設グループは、企業の中長期の成長と、社会の持続的な発展の両立を目指し、本業の成長戦略とESG重視のサステナビリティ経営を経営の両輪として推進しています。

2025年度実績または2025年度末数値

インプット

財務資本

価値創造を実現する財務基盤

総資産	7,904億円
自己資本	1,983億円
自己資本比率	25.1%

人的資本

多様性のあるプロフェッショナル人材

連結従業員数	3,991名

知的資本

ターゲットを明確にした技術開発

研究開発費（個別）	33億円

製造資本

事業活動を支える設備投資

設備投資額	847億円

社会関係資本

価値を共創するパートナーシップ

五洋建設労務安全協議会会員数	1,155社

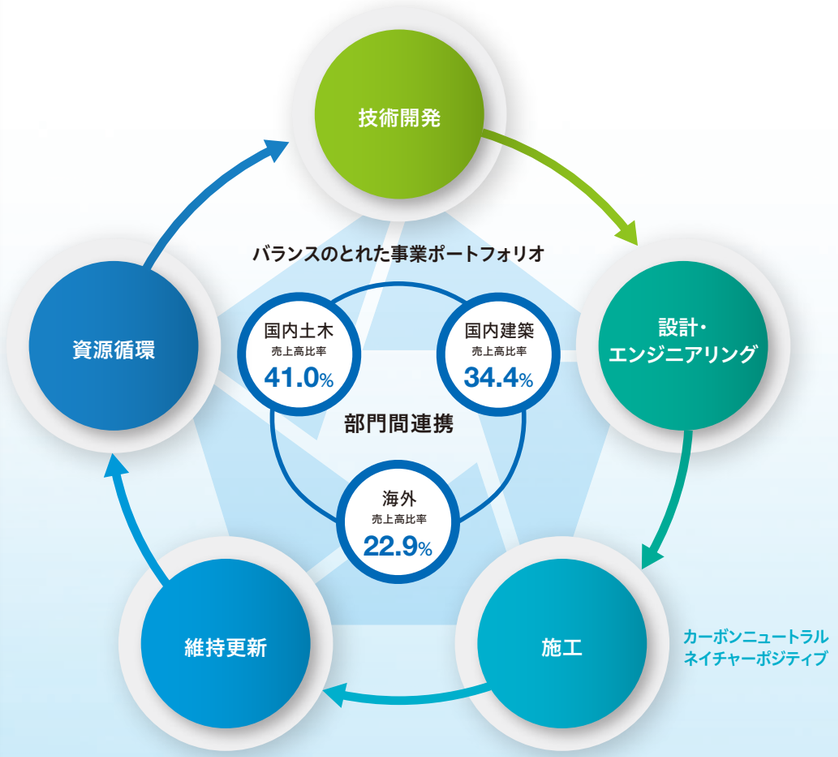
自然資本

資源の効率利用

エネルギー利用量

5,684,128GJ

ビジネスモデル



サステナブルな建設事業活動の実践

マテリアリティ（重要課題）

❶ 気候変動問題への対応
❷ 豊かな環境の創造
❸ 良質な社会インフラ・建築物の建設
❹ 技術開発・技術力の強化
❺ DE&Iの推進
❻ 人権の尊重と持続可能なサプライチェーン
❼ 労働安全衛生の確保
❽ 実効あるガバナンスの推進

アウトプット

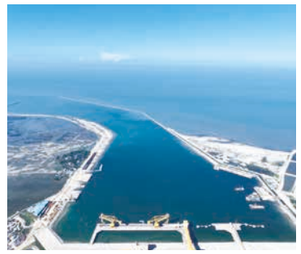
国内外の社会インフラ・建築物

国内土木事業

完成工事高	3,259億円
完工総利益率	17.0%
営業利益	402億円

国内建築事業

完成工事高	2,734億円
完工総利益率	9.5%
営業利益	168億円



海外建設事業

完成工事高	1,818億円
完工総利益率	▲0.2%
営業利益	▲32億円

その他（造船、環境関連、不動産等）

売上高	132億円
売上総利益率	17.6%
営業利益	15億円

アウトカム

ステークホルダーにもたらす価値

お客様

技術に裏打ちされた確かな安全と品質の提供

国発注工事（土木）の工事成績	80.4点
民間顧客満足度（土木）	100%
民間顧客満足度（建築）	93.2%

株主・投資家

企業価値向上、継続的かつ安定的な株主還元

ROE	18.7%
年間配当額	48円
総還元性向	66.9%

従業員

国籍、性別等を問わず公平に活躍できる職場環境の整備

女性従業員比率	17.6%
入社3年以内離職率	11.2%
4週8休の定着状況	95.3%

取引先

対等な立場でのパートナーシップの構築

優良職長認定者数	530人
死亡者数（国内協力会社）	0人
死亡者数（海外協力会社）	1人

環境・地域社会

サステナビリティ経営の実践による豊かな環境の創造

CO_2排出量削減率※（2019年度比）	7.8%
ZEB等認証の取得件数	4件
建設廃棄物リサイクル率（国内）	95.0%

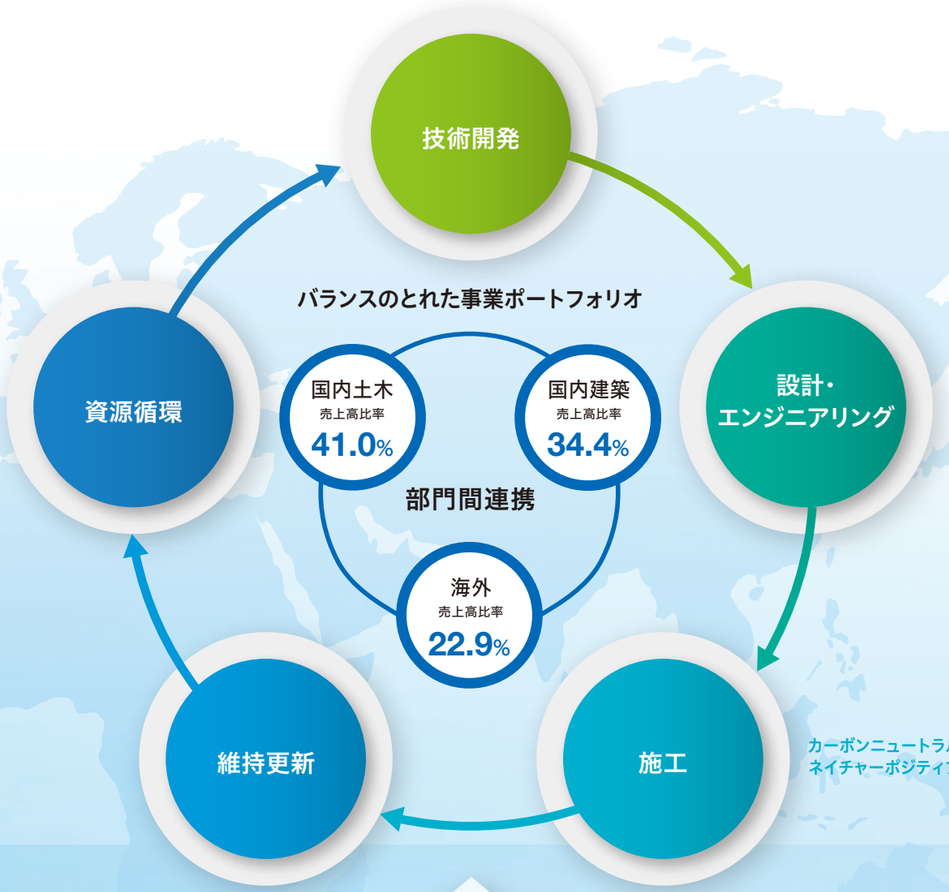
※Scope1、2

充実した経営資本の再投入

ビジネスモデルと強み

当社は長年にわたる歴史の中で、4つの強みを培ってきました。これらの強みのもと、3部門が連携し、「技術開発」「設計・エンジニアリング」「施工」「維持更新」「資源循環」のバリューチェーンにおいてサステナブルな価値を生み出し、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

五洋建設グループのバリューチェーン



DE&Iの推進により、多様な人材が支える事業活動

・女性、キャリア、外国籍、障がい者などの積極的な採用やシニア社員の活躍推進など、多様な人材が活躍できる職場環境を構築
・250名以上の新卒採用、及び50名以上のキャリア採用を行うとともに、様々な教育・研修制度により若手社員を早期に戦力化
・すべての社員が、働きがいを感じながら事業に貢献できるように、家庭（育児、介護）と仕事の両立など、
ワークライフバランス向上に資する積極的な取組みや職場環境の整備

4つの強み

臨海部ナンバーワン

・臨海部の豊富な施工実績（埋立、浚渫、港湾、海底トンネル等の海洋土木や物流施設、クルーズターミナル等の建築など）
・海洋土木分野の卓越したエンジニアリング力、施工力（技術開発から提案、設計、施工、維持補修まで）
・海洋環境分野の先進的な取組み（藻場・干潟の造成、建設発生土・浚渫土リサイクル、ブルーカーボン）

東京港 海の森トンネル

東京国際クルーズターミナル

グローバル展開

・1961年スエズ運河改修工事を機に海外に本格進出（当社のDNAである進取の精神の実践の象徴）
・2024年シンガポール進出60周年、2026年香港進出40周年（海洋土木から建築、陸上土木へ、シンガポール国土の約10%の拡張に貢献、シンガポールに本社機能）
・質の高いインフラ輸出（ODA）に貢献（東南アジアを中心に、南アジアからアフリカ、大洋州）

パシルパンジャン コンテナターミナル（シンガポール）

ION オーチャード・ジ オーチャードレジデンス（シンガポール）

部門間連携

・土木・建築、国内・海外の連携、それぞれの強みを活かす
・土木・建築の連携（建築の基礎工事を土木が担当；軟弱地盤克服、地下水制御、インフラとの近接施工等）
・国内・海外の連携（グローバルDXセンターを核とした連携強化、日本の土木技術の海外での活用、海外土木技術の国内土木での活用）

ヨドバシ梅田タワー

MTR 沙田至中環線1121工区海底トンネル（香港）

進取の精神の実践

・洋上風力建設のフロントランナーとしての挑戦（積極的な作業船投資と150名超の人材を投入・育成）
・ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の積極的な取組み（実プロジェクトおよび工事事務所のZEB化推進）
・室蘭製作所における水素エネルギー利用の試行（太陽光発電から水電解装置による水素製造・貯蔵と燃料電池による発電の利用を試行）

北九州響灘洋上ウインドファーム

久光製薬ミュージアム